

IBM PowerVC

IBM Power Systems のための仮想化とクラウドの管理ソリューション

ハイライト

- IBM® Power Systems 向けの簡素化された仮想化とクラウドの管理
 - 容易な複製による仮想マシン(VM)の一貫性と迅速な導入
 - クラウドへの新しいワークロードを容易にプロビジョニングできるセルフサービス・ポータル
 - 入出力リソースの自動構成により、可搬性と可用性の高い構成を実現
 - ポリシー・ベースのワークロード配置による管理の簡素化と自動化
 - VM のキャプチャー、デプロイ、仮想イメージのカatalog管理
-

IBM PowerVC は、OpenStack をベースに構築され、IBM Power Systems 上で稼働するオペレーティング・システムである IBM AIX、IBM i、Linux の VM の管理とクラウド実装を簡素化する、仮想化とクラウドの管理ソリューションです。PowerVC は、管理者の生産性の向上と、Power Systems 上の VM のクラウド管理を簡素化します。PowerVC は、OpenStack を基盤とする上位の IBM Cloud Orchestrator への統合など、Power Systems におけるスケーラブルなクラウド管理のための基盤となります。

PowerVC が提供するシンプルで使いやすいクラウド実装の機能によって、ワークロードを簡単に導入・展開、移動して、リソース使用率を最大限に向上させるとともに、総所有コストの削減を支援します。PowerVC は、トレーニングを必要とせずに、Power Systems におけるクラウド実装を加速するよう設計されています。PowerVC は、既存の VM の定義、ストレージ、ネットワーク、サーバーの構成情報などを自動的に収集して、既存の IT インフラストラクチャーを管理します。

PowerVC は、キャプチャーした VM イメージをライブラリーとして管理できるため、IT 管理者は、保管されたイメージを起動することで、VM 環境を素早く導入・展開できます (特定の環境を手動で再構築する必要はありません)。仮想イメージを保存してイメージ管理を一元化することで、VM 環境を導入・展開するために必要なリソースをもったシステムに仮想イメージを移行または移動し、そのイメージ上にアプリケーションを素早く導入・展開できます。

IT 管理者は、PowerVC により、ワークロードのサポートに必要なリソースをプール化できます。リソースのプール化を活用することで、ユーザーのワークロード要求をサポートしてシステムの使用率を高め、管理コストを削減すると同時に、IT の俊敏性を高めてビジネスをサポートし、ビジネス・ニーズと市場の傾向への即応性を向上できます。

PowerVC のアーキテクチャーは、OpenStack のフレームワークを使用して、Power Systems 向けにカスタマイズされた仮想化とクラウドの管理を提供します。PowerVC は、ハードウェア管理コンソール (HMC) などの Power Systems 固有のユーザー・インターフェースに対応する IBM 独自の OpenStack ドライバーのほか、スケジューリング機能を提供しています。IBM PowerKVM を用いて、よりオープンな仮想化環境を構築する場合も、PowerVC によって管理できます。

PowerVC は、2 つの製品として提供されます。PowerVC Standard Edition は、PowerVM または PowerKVM によって仮想化されたシステムを管理します。IBM Cloud PowerVC Manager は、PowerVM によって仮想化および構築されたクラウドを管理します。IBM Cloud PowerVC Manager には、PowerVC Standard Edition のすべての機能に加え、セルフサービス・ポータルやポリシー承認、課金用データなどの PowerVC クラウドに必要な機能が組み込まれています。



特長	メリット
シンプルなインストールと構成	<ul style="list-style-type: none"> 迅速な価値の実現
直感的なユーザー・インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> トレーニングが不要
リソース・プールと配置ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> リソース使用率の向上によるコストの節減 IT 管理者の負担を軽減
Dynamic Resource Optimizer	<ul style="list-style-type: none"> ポリシー・ベースの自動化により、CPU やメモリーの使用量に基づき、ホスト・グループ内の仮想マシン (VM) の配置をアクティブに調整 使用率の低いサーバーへの VM の移動や、Capacity on Demand (CoD) による CPU リソースやメモリー・リソースの VM への追加を実施し、ワークロードのバランスを調整
ホストのグループ化	<ul style="list-style-type: none"> 管理対象リソース全体のサブセットに対して個別にポリシー・ベースの制御を提供
別サーバー上での VM の再始動	<ul style="list-style-type: none"> サーバー障害の発生後、別サーバー上で自動的に VM を再始動可能
アフィニティー・ルール	<ul style="list-style-type: none"> VM の配置を同一サーバーに集約するか、またはサーバー間で VM を分離するかのメカニズムを提供
入出力リソースの自動構成	<ul style="list-style-type: none"> セットアップの簡素化と自動化により、可搬性と可用性の高い入出力構成を実現
仮想イメージ管理	<ul style="list-style-type: none"> VM の展開・構成を繰り返し実施可能
VM デプロイ時のホストへの自動配置	<ul style="list-style-type: none"> 複雑さを軽減
サード・パーティーによってサポートされている OpenStack ドライバー	<ul style="list-style-type: none"> サード・パーティー製の入出力装置の管理を加速
ワンクリックによるシステム退避	<ul style="list-style-type: none"> 保守のためのシステム退避を簡素化
構成テンプレート	<ul style="list-style-type: none"> VM の一貫性を維持して標準化し、サポートの負担を軽減
セルフサービス・ポータル (IBM Cloud PowerVC Manager)	<ul style="list-style-type: none"> ワークロード配置を加速
ポリシーの承認 (IBM Cloud PowerVC Manager)	<ul style="list-style-type: none"> セルフサービス・ポータルを制御
課金用データ (IBM Cloud PowerVC Manager)	<ul style="list-style-type: none"> クラウド・リソースの課金に使用するデータを提供
テンプレートの導入 (IBM Cloud PowerVC Manager)	<ul style="list-style-type: none"> セルフサービス・ユーザー向けに、クラウド管理者はワークロード特性を事前に構成可能

さらに、PowerVC は以下を提供します。

- ハードウェア・スタック全体 (ホスト、ストレージ、ネットワーク) とソフトウェア・スタック (PowerVC コンポーネント) のインストールと構成
- 初心者であっても、数時間でインストールと構成が可能
- わずかな資源でソリューションのライフサイクル全体 (デプロイ、運用、サポート) に対し優れたユーザー・エクスペリエンスを提供

- Power Systems に仮想化とクラウドの機能を提供する、信頼性、拡張性、費用対効果に優れたプラットフォーム
- 業界標準の API による Power Systems への高水準のクラウドの実装と、仮想化環境とクラウド管理のシンプルな運用と保守
- ポリシー・ベースの最適化に基づき、余剰リソースの VM への追加や使用率の低いシステムに VM を移動することで、ワークロードのバランスをダイナミックに調整

The screenshot displays the IBM PowerVC web interface for deploying a virtual machine named 'susan-img0'. The interface is organized into several sections:

- General:** Contains fields for 'Virtual machine name' (susan-img0), 'Instances' (1), 'Host' (Selected by placement pol), 'Compute template' (2 - Small), and resource requirements: Processors (1), Processor units (0.5), Memory (MB) (2,048), and Disk size (GB) (0).
- Network:** Includes a 'Network template' dropdown menu currently set to '-- Select a network --'.
- Current and projected use:** A summary section showing resource usage based on selections. It includes three bar charts:
 - Virtual machines (0):** 0% usage, 100 Total.
 - Processor units (3.1):** 39% usage, 8 Total.
 - Memory (MB) (21,312 MB):** 65% usage, 32,768 MB Total.
 - Disk size (1,206.25 GB):** 37% usage, 3,269.25 GB Total.

At the bottom of the configuration area, there are 'Deploy' and 'Cancel' buttons.

詳細情報

IBM PowerVC の詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/systems/jp/power/software/virtualization-management/



© Copyright IBM Corporation 2017

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
May 2017

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、AIX、Power Systems、および PowerVM は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

本資料は最初の発行日の時点で得られるものであり、随時、IBM によって変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用できるわけではありません。

本資料の情報は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証、および第三者の権利の不侵害の保証を含む、すべての明示もしくは黙示の保証責任または保証条件を負わないものとします。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。



Please Recycle
